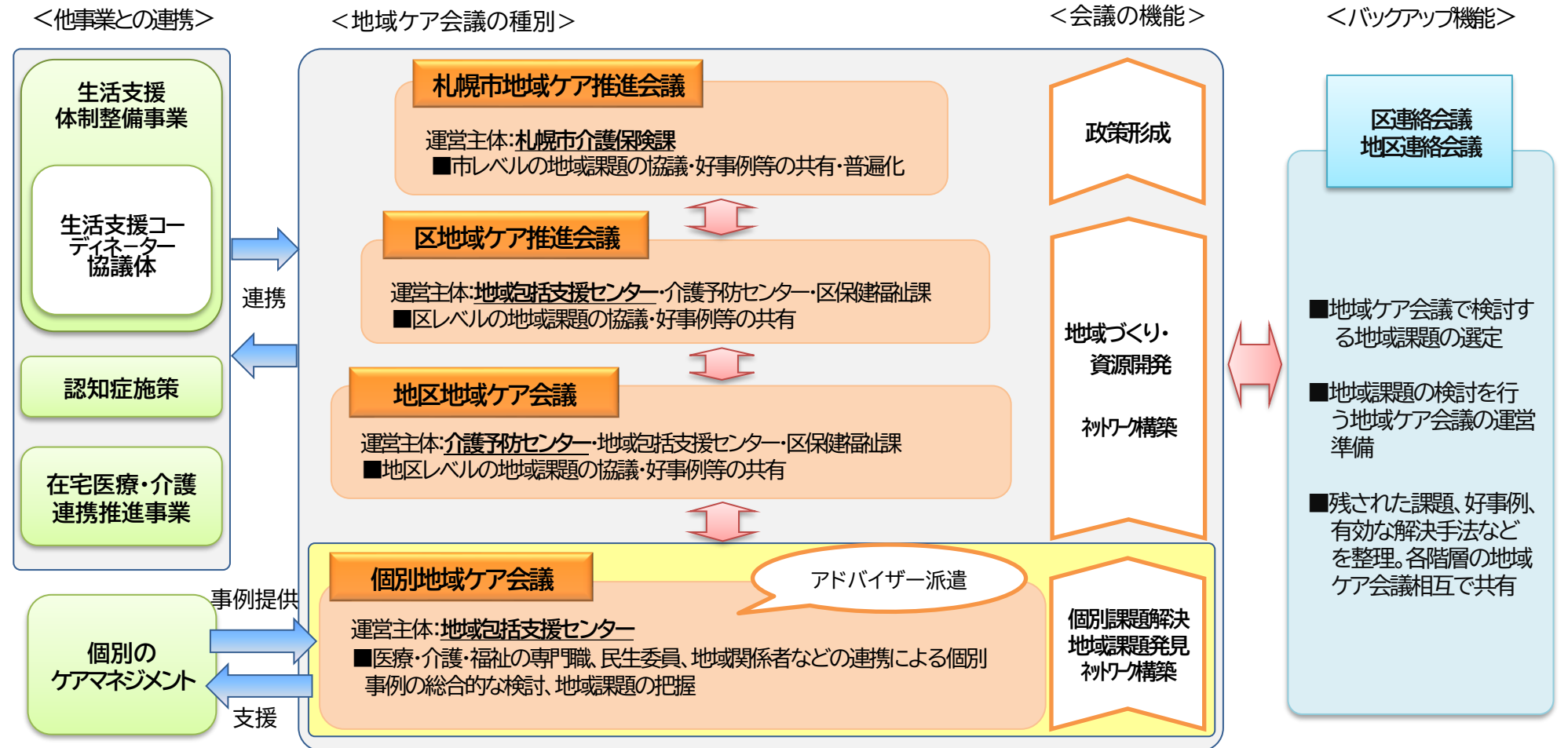


○地域ケア会議は、多職種の連携によりケアマネジメントの質の向上を図るとともに、個別ケースの課題分析等の積み重ねにより地域課題を発見し、地域に必要な資源開発や地域づくり、政策形成につなげるものであり、地域包括ケアの実現に向けた重要なツールのひとつとして、平成27年度から介護保険法に位置付けられた。

○札幌市では、平成27年度から既存の会議を市・区・地区・個別レベルに再編。運営主体が一体となり各階層(レベル)ごとの地域ケア会議を実施することにより、それぞれの会議の機能を連動、循環させ、地域包括ケアの実現を目指している。

○個別地域ケア会議には、専門職のアドバイザー派遣を受けられる仕組みを設け、多角的な視点での検討を行うことが可能となっている。個別課題解決型の他、令和4年度からケアマネジャー等が多職種のアドバイザーから助言を受けることで効果的な支援に活かす「自立支援型」個別地域ケア会議を実施。

○令和6年10月から、個別地域ケア会議を活用した、介護予防サービス計画の検証を開始。



直近の地域ケア会議の取組について

令和3、4年度



【個別】

- ・検討内容は「認知症等」が最も多く、「身体機能低下」が2番目に多い
- ・独居の方等に対する地域の支援体制が必要

【地区】

- ・「ネットワーク構築(地域での見守り)」「介護予防の推進」を検討した地区が多数

【区】

- ・コロナ禍におけるフレイル予防及びつながりについて検討した区が多数

【市】

- 【テーマ】フレイル疑いがある高齢者の早期発見・早期支援につなげるための取組

【ご意見】

- ・従事者から高齢者へのフレイルの情報提供ができる資料の作成
- ・誰でもセルフチェックできる資料の作成



札幌市フレイル予防リーフレットの作成

- ・各関係機関、各委員のみなさまのご協力により、令和5年度から約14万部配布。フレイル予防の啓発に役立てられている。

【地域課題】

- ・コロナの影響による、高齢者の閉じこもりや社会参加の場の縮小
- ・認知症高齢者の早期発見及び在宅生活継続には、地域の協力が必要
- ・身体機能低下防止のためには介護予防活動の推進が必要

【残された課題】

- ・地域に留まらず、高齢者に関わりのある機関(病院・薬局・サービス事業所等)との連携が必要
- ・介護予防活動・セルフケア方法のより効果的な普及啓発が必要

【残された課題】

- ・関係機関との連携を強化する必要がある
- ・フレイル予防が必要な高齢者により広く周知することが必要

令和5、6年度



【個別】

- ・前年度に続き、検討内容は「認知症等」が最も多い
- ・個別地域ケア会議で検討されるケースの半数が単身世帯

【地区】

- ・「ネットワーク構築(地域での見守り)」「認知症支援」を検討した地区が多数

【区】

- ・「認知症などのために生活に困りごとを抱える高齢者の早期相談、早期支援」について検討した区が約半数

【市】

- 【テーマ】認知症(疑い)の方が自分らしく暮らし続けられるための地域づくり

【ご意見】

- ・見守り活動のグッズを作成し普及啓発・連携を行う
- ・企業・団体へのアプローチを行う



「認知症の方にもやさしいお店・事業所」登録事業の開始、ステッカー作成

- ・令和6年12月から事業開始。2月現在、スーパー、金融機関等、410店舗(22企業)が登録。

【地域課題】

- ・認知症高齢者の孤立防止及び在宅生活継続には、地域の協力が必要
- ・独居の方、キーパーソン不在の方等への見守り、支援の充実のためには地域の支援体制が必要

【残された課題】

- ・地域住民に留まらず、高齢者に関わりのある機関(病院・薬局・サービス事業所等)との連携が必要
- ・地域に認知症の疑いなど心配な方がいても相談先が分からず、重症化してから相談機関に繋がることが多い

【残された課題】

- ・理美容室や鍼灸整骨院、スーパー等の地域資源、民生委員や自治会等と相談機関との連携を強化する必要がある
- ・地域全体の認知症に関する知識不足、相談先の関係機関の周知不足

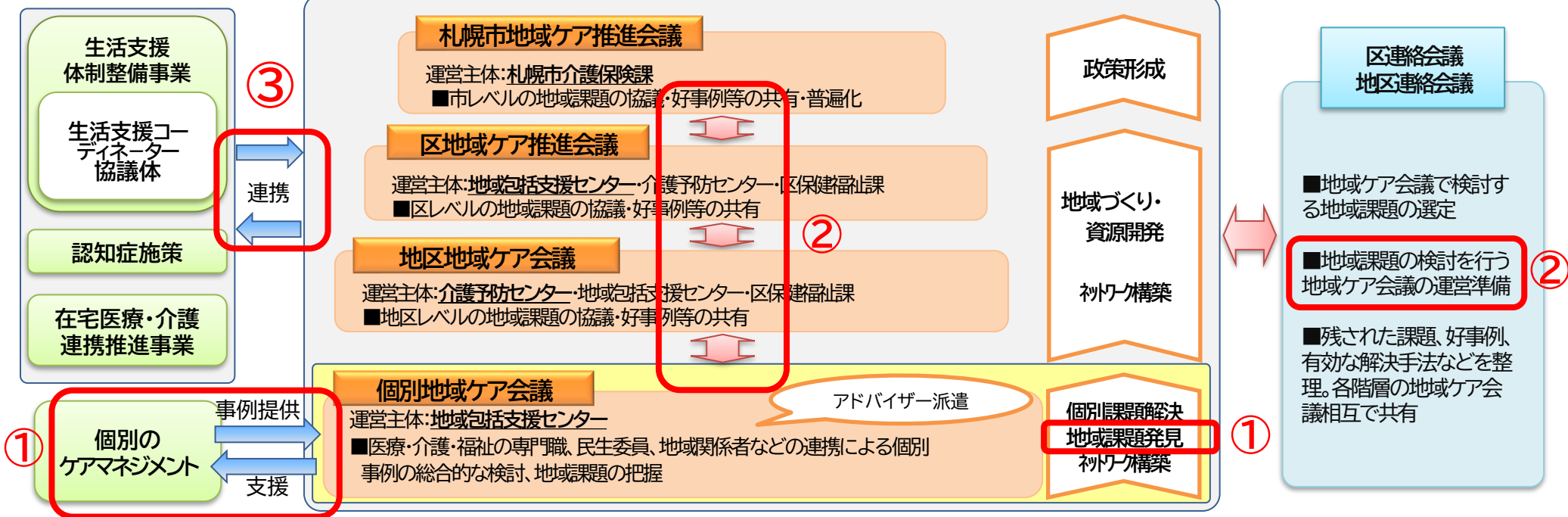
今後の地域ケア会議について

<他事業との連携>

<地域ケア会議の種別>

<会議の機能>

<バックアップ機能>



「地域ケア会議をより良くするためのポイント」

① 地域課題の抽出

現状) 地域ケア会議で地域課題が抽出されないことがある。

Point) 個別事例から地域課題をみる視点、参加者の会議の機能の理解(開催の目的の理解)、残された課題の整理 など

② 課題の積み上げ、連動

現状) 地域課題が特定の分野に偏りがちになる。市地域ケア推進会議まであがってくる課題が少ない。

Point) 日頃の業務や地域ケア会議から抽出した地域課題の把握、複数の地域課題の類型化・仕分け、地域課題のレベルと優先順位 など

③ 他事業、他会議体との連動

現状) 地域ケア会議から抽出された課題を他事業に連動している例が少ない

Point) 他事業との連動も含めた地域ケア会議の全体の体系、他事業の目的や会議体の理解 など